

ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み

当市は2023年11月30日の市議会において、「鎌ヶ谷市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

2050年カーボンニュートラルに向けて、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に取り組んでまいります。

地球温暖化対策には、その原因物質である温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、気候変動の影響を軽減する「適応策」があります。

当市はこれらを二本柱と捉え、両者に並行して取り組むことで脱炭素社会の実現を目指します。

緩和策(例)

1. 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金
2. 公共施設への太陽光発電設備等の導入(PPA事業)
3. 公用車における低燃費かつ低排出ガス認定を受けた車両の導入
4. 新規に建築する公共施設のZEB化の検討
5. 全庁的な省エネへの取り組み(公共施設エコアクションプラン)

適応策(例)

1. 熱中症警戒アラートの実施
2. 官民連携によるクーリングシェルターの開放
3. 水害ハザードマップや安心eメールの周知による防災意識の向上
4. EV充電インフラ等導入の検討
5. ゴーヤ種の配布による緑化の推進

啓発活動

1. 高校生との協働による脱炭素PR動画の配信(継続中)
 - (1) YouTube
 - (2) 本庁舎市民課前デジタルサイネージ
 - (3) 東武野田線新鎌ヶ谷駅改札前デジタルサイネージ
 - (4) 鎌ヶ谷スタジアムビジョン広告
2. かまがや環境フェアの実施
3. 市民向け環境講座の実施